





つらちみ三

秋山記

あまのゆるよとに、あつたむらじふのひもと
ひよりつらひとせわむひも、何もさしあつた
かゝる昔は、但馬の城は崎のわき湯にきよき
〜ひもなほは、たけなすきあはらきりとも
〜りちり〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り〜り
のちとせれめし、いせり〜り〜り〜り〜り
二冊とるむか、とせれし〜り〜り〜り〜り



あきなるまなざしを
まらぶ玉 緋のうらみ
うらひて 胸に 刺さるる
— 刺さるる 刺さるる 刺さるる
も 刺さるる 刺さるる 刺さるる
ちかし 刺さるる 刺さるる 刺さるる
た 刺さるる 刺さるる 刺さるる
せ 刺さるる 刺さるる 刺さるる
あつと 刺さるる 刺さるる 刺さるる
もあつと 刺さるる 刺さるる 刺さるる

あきなるまなざしを
まらぶ玉 緋のうらみ
うらひて 胸に 刺さるる
— 刺さるる 刺さるる 刺さるる
も 刺さるる 刺さるる 刺さるる
ちかし 刺さるる 刺さるる 刺さるる
た 刺さるる 刺さるる 刺さるる
せ 刺さるる 刺さるる 刺さるる
あつと 刺さるる 刺さるる 刺さるる
もあつと 刺さるる 刺さるる 刺さるる

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and appears to be a continuous passage of prose.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a single column and appears to be a continuous passage of prose.

ひくまのついでに藤原なわけわあつたうの表わ
 ろひひあつたれむ或人 浦波のゆふらうよ月
 よりもむの里のふらうのむむ波風ういていといと
 るうけうてあつたもなむらわうていふらうていふらう
 めまういふらうらうらうらう八月をわうらうらうらう
 つめて雨れ余波のをさふらうていふらうていふらう
 但馬の國は入ぬ粟野うらう郷はよらう粟野うらうていふら
 は入堂や仙臺と云名の魚あつたむかうていふらうてい
 ののひよわ賜をせうとす休らうらうらうていふらうてい
 めり出る

山崎の金はなすてゆへなりとてぬらうていふらうてい
 らうていふらうていふらうていふらうていふらうてい
 漕れゆへこれのひひあつたにむらうていふらうてい
 昔に昔に昔に昔に昔に昔に昔に昔に昔に昔に昔に昔に
 わうわうわうわうわうわうわうわうわうわうわうわう
 つらむらうのむらうらうらうていふらうていふらうてい
 秋のむらうていふらうていふらうていふらうていふらう
 りうらうのむらうていふらうていふらうていふらうてい
 夕月表わらうていふらうていふらうていふらうてい
 けわらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうらう

かゝる〜しぬ〜
ついで〜ちて〜
ら〜は〜し〜
浪のけち〜
ら〜は〜し〜
た〜も〜し〜
よて〜は〜し〜
に動〜し〜
て〜は〜し〜

〜しぬ〜
〜しぬ〜
浦の神の立〜
〜しぬ〜
〜しぬ〜
〜しぬ〜
の國は〜
〜しぬ〜

Handwritten musical notation on the left page, consisting of a single staff with various notes and rests.

Handwritten musical notation on the right page, consisting of a single staff with various notes and rests.

蒼涼も庭にふもてるのまゝに
 ちり月のおもひにまじりての浦に
 倉丁のあまをば捕れたる
 糸の乳白を洗きて水に西のま
 舞く釣舟はまてまはるも満
 水國法山秀江村

楓林稀日晡風浪湧漁父
 漁父のあまをば捕れたる
 糸の乳白を洗きて水に西のま
 舞く釣舟はまてまはるも満
 水國法山秀江村

うき世のまじりてのまゝに
 ちり月のおもひにまじりての浦に
 倉丁のあまをば捕れたる
 糸の乳白を洗きて水に西のま
 舞く釣舟はまてまはるも満
 水國法山秀江村

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style. The first line begins with a capital letter 'D'. The text continues across several lines, ending with a period. The handwriting is consistent throughout the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style. The first line begins with a capital letter 'D'. The text continues across several lines, ending with a period. The handwriting is consistent throughout the page.

一々眼し〜して〜
 て〜
 命〜
 一思ふ男よあ〜
 せあ〜
 ら〜
 のは〜
 よ〜

必存らん神は〜
 中〜
 う〜
 ら〜
 一〜
 物〜
 一〜
 又〜

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines within a rectangular border. The characters are fluid and interconnected, characteristic of a cursive hand.

Handwritten text in a cursive script, similar to the left page. It is arranged in approximately 15 horizontal lines within a rectangular border. The script is consistent with the left page, showing a continuous flow of characters.

かゝる御耳ふりていさゝかせまらざる
つゝハ親のいも物よあはらざる寧ろ神の賜の命を
ももれ表の御誅よいぢぢとせしむらん
まづいしにいさゝかふとせしむらん
おれんいおれけいおれおれおれおれおれおれ
御んまおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
いさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
取なまゝの残りく第^カ監のまらぢあゝいさゝか
いさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
みづあゝいさゝかおれいさゝかおれいさゝか

のうがきしゝか^カいさゝかおれいさゝか
かんいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
里よ^カ魁のまおれいさゝかおれいさゝか
いさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
かゝる御耳ふりていさゝかせまらざる
たごかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
おれいさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
おれいさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
おれいさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか
おれいさゝかおれいさゝかおれいさゝかおれいさゝか

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a diary. The text is written in a fluid, connected style with some capital letters and punctuation marks.

Handwritten text in a cursive script, similar to the page above. It appears to be a continuation of the same text or a separate entry. The script is consistent and legible.

じの〜花とく共よまぢ〜れはれ今れせり
 きのひ〜らちう也々わゆ〜手は儀廻り綱に
 ち子おもひ〜なすのて〜たのうのうせし
 たく繩〜わらぶのうさのさ〜ぬ〜らちらり
 〜ん〜ま〜ひ〜目おもひ〜るのささ〜り
 とも〜の腰〜ひ〜い〜な〜のさ〜る
 とつれはれぢ〜た〜は〜ひ〜に〜綱〜れ〜ん〜で〜た
 ひも〜の〜ひ〜ひ〜な〜海〜おも〜む〜る
 とも〜の〜ひ〜ひ〜な〜高〜嶽〜な〜わ〜ら
 の嶺〜な〜海〜おも〜む〜るのうのう〜の興ウツの中〜

とも〜の〜ひ〜ひ〜な〜海〜おも〜む〜る
 の嶺〜な〜海〜おも〜む〜るのうのう〜の興ウツの中〜

もみち葉今にあつても、
かひて目もあやあや、
神のまゝに、
さ—おのろく、
ち神もたせしむる社傳也、
めい、
ふ、
そ、
の、
も、
ふ、

たうこれ歌も、
と、
い、
ひ、
國、
後、
波、
を、
の、
く、

乃とふ迷ふもたつて郷のちとちと今一表
ふふふとハ千表一ふとちとちとてしめ

つゝら冊子三

三冊子

文化三年九月發行

書林

江戸	須原屋平助
大坂	大野木市兵衛
京	小川五兵衛
	菊屋源兵衛

